

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 (内用地補償費)	億円
		通常砂防事業 しるまる 城丸川	宝塚市 ひらい 平井		約 2.6 (約 80百万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
宝塚市 平井				H15年度	H18年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命、財産及び地域の主要交通である阪急電鉄宝塚線を保全する。			・砂防堰堤工 2基 { 透過型堰堤 (H = 7.5m, L = 32.6m) 不透過型堰堤 (H = 10.5m, L = 51.9m)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		・城丸川は土石流危険渓流である。 ・流域の荒廃も広範囲に及んでいるが、砂防設備は未設置である。 ・流域状況は急峻な地形で、脆弱な地質(有馬層群)である。 ・保全対象:人家 = 92戸、公共施設 = 阪急電鉄宝塚線、市道			
地域の活性化		・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流の有効な土地利用が可能となる。			
快適性・ゆとり		・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより安全で快適な生活空間を提供する。 ・企業の寮や団地のテニスコートがあり、地域の福利厚生の方が保全される。			
その他		・地元からの事業化への要望が強く、土砂災害に対する認識度も高い。 ・寺畑前川の上流にあたり、流域の治水対策向上に寄与する。			
(2)有効性・効率性 有効性		・人家92戸と多く、地域交通の要である阪急電鉄宝塚線が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。			
効率性		・地元からの要望が強く、市等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。			
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の変更を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・透過型堰堤の採用により、渓流の上下流の連続性を確保し、生態系の保全に努める。			
(4)優先性		・土石流の想定被害区域には人家92戸と地域の主要交通である阪急電鉄宝塚線がある。 ・流域状況は急峻な地形、脆弱な地質と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、平井地区の人命・財産の保全のために早急な対策が必要である。			